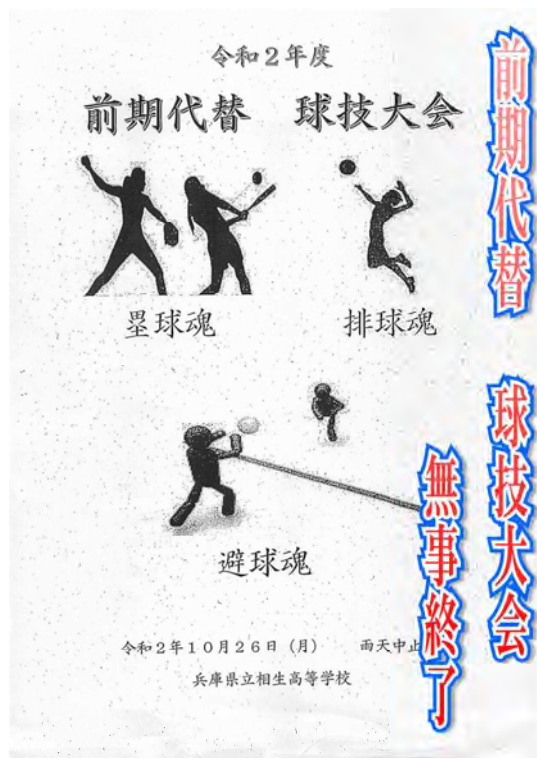


42 破天荒

令和 二 年度 版

創刊
第四十一号



コロナウィルス禍の中で、開催が見送られていた前期球技大会が、二学期中間考査明けの二十六日月曜日に、午前中のみ日程で開催されました。三年生にとって、二学期は土日のない日々で、メリハリのつけにくい毎日でしたが、このタイミングで一服の清涼剤になったのではと思います。結果等は、以下の通りです。無事ストレスの発散をして、次に進み出してくれるものと信じています。

各会場に弾けた声は心の底からのものでした。振り返ってみれば、過去最高の結果であったと思います。何事も表彰されるというのは、大きな自信にもなりますね。

この先の四十二回生に期待します。

結 果

ソフトボール	優勝	二組
ドッジボール	優勝	五組
バレーボール男子	二位	一組
バレーボール女子	二位	二組
		三位
		五組
		三組

さあ、球技大会の始まりです！！



**表彰式の準備
半日の行事でしたが
満喫した一日となりました**



美しい師弟愛

担任への打撃直撃も何のその
約束通り、チーム優勝に貢献しました

今月の入試情報

先月、中間審査一日目に、文部科学省によって発表された、大学入学共通テストに関する新型コロナウイルス対策の新聞記事について、「保護者と必ず情報共有をするように」と、配布しました。生徒の皆さんは、まず自分のこととして、ちゃんと読んで理解してくれましたか。保護者の皆様は、生徒からその情報を共有して頂けましたか。

まだ共有できていないご家庭は、「共通テスト コロナ対策」と検索頂ければ、ネット上でも確認できます。それ以上に、生徒に配布した「気になる記事を共有しよう」を目にして頂ければ、より有難いです。

因みに、「気になる記事を共有しよう」は、一学年時後半から継続しております。

他にも、学年通信は今号で四十一号を数えます。この中には、相生高校の様々な先生、生徒の多くの想いが含まれています。これらの中には、現在、総合型選抜入試や推薦入試等で、自分が目指すもの、この学校で何を残した、何を待た、何を考えてきたかを見つけるヒントが多くあります。志望理由や、面接で語る材料を、自分の相高の歴史の中で見つけてほしいものです。また、この四月以降、新型コロナウイルスとの闘いで、日々皆さんに配信してきた連絡も、実は、すべて目にできるようなし続けています。多少、タイムラグはありますが、次のホームページを覗いてみて下さい。

兵庫県立相生高等学校TOPページ内
 新型コロナウイルス感染症予防のための連絡 をクリック
 少しダウンスクロールして
 ① 42 回生（3 年）負けてたまるか！

歴史の中で

を順にクリックしてもらえれば、

というページに辿り着きます。以前から、残してはいましたが、今回、改めて紹介します。また、
 ② 宝箱 もクリックしてもらえれば。
 ログインパスワード、覚えていますか？
 あの日、あのとき。感謝の心を行動に変えよう。この先も、あなたたちは「コロナ」とともにある。

志望理由

指定校推薦入試を筆頭にして、総合型選抜入試、学校推薦型選抜入試などの出願に際して、生徒の皆さんが書いた自己推薦文、志望理由書を讀ませてもらう日々です。
 一生懸命に、文章にしようとしている様子が窺えます。自分のしたいことを一生懸命に書いています。ただ、

「そこに行きたい理由が
 その文章に滲み出ているのか？」

志望理由とは、

「そこで」、「何を」したくて、

「そこには」、

「他にない、あるいは、自分にとってここしかない」という理由を述べることです。その内容が、一度で書きあげられるものではないことは、明らかですね。自分の書いた志望理由書を、第三者として何度か眺めてください。そうすれば、こんなこと聞かせたい、聞かれてみたいという内容が滲み出てくると思います。

志望理由を妥協して、そこが

「本当に行きたい進路先」

と、あなたが採用先の試験官なら、興味を持つでしょうか。
 高校入試で、志望理由や、面接試験を受けたときの感覚で、大学入試等も同じだと考えているならば、この受験法で合格を勝ち取ることは、大変困難なものだと早く気付いて下さい。

「やればできる」

テイモンディの高岸さんが大切に使っている魔法の言葉は、彼の母校である愛媛県済美高等学校の校歌の唄い出しの一節です。皆さんにとっての魔法の合言葉も、相生高校の中にも必ずあります。将来振り返ったときにきつと気付く、自分を勇気づける魔法の合言葉が、志望理由からしっかりと滲み出て、受験先の相手に訴えることができる志望理由書を、この先、期待していききたいと思います。

42 回生のいま

11 月の予定

10 月 31 日 (土)	ベネッセ共通テスト模試
11 月 1 日 (日)	(2 日間)
11 月 4 日 (水)	創立記念国際理解講演会
11 月 6 日 (金)	西播オープンハイスクール CC
11 月 7 日 (土)	オープンハイスクール
11 月 10 日 (火)	中西播オープンハイスクール
11 月 14 日 (土)	共通試験対策講座&試験会場見学会 (関西福祉大学)
11 月 18 日 (水)	CC
11 月 25 日 (水)	スケアードストレート (交通指導)
11 月 28 日 (土)	全統共通プレテスト
11 月 29 日 (日)	(2 日間)

2 学期中間審査を終えて、各教科ともに共通テスト直前演習が増えます。時間に追われる毎日が続きます。その一方で、演習教材をやりっ放しのままにしがちになります。演習（練習試合）は、課題を見つけ、改善するために行います。試合だけして反復トレーニングをしなければ、己の血にも肉にもなりません。共通テストの準備としては、文系も理系も少しずつ整備されてきて、目標とする志望校も光が射してきている生徒も増えてきています。その点は、6 月迄の穴が少しずつ埋まってきました。
 ただ一方で、記述（個別試験）については、特に理系の理数科目に関する練習が、だいぶおろそかになっているように思います。
 あれもこれもで、どこに時間があるんだ！！
 そんな気持ちも分からないでもないですが、今各教科が授業で行っていることは、多くは受験に向けての内容です。
 足元をもう少しだけ大切にしてほしいものです。
 その件で、志望校を変えてということではありません。ただし、共通テスト後に、その志望校と架ける天秤を、自分の将来をよく見据えて深く考えてほしいと思います。私学が駄目ということではありません。新たなきっかけに、模試の志望校を書いていきましょう。
 進路の手引きを見てみよう。進路実績の結果は、先輩たちのすべて第一志望の結果が並んだものだと考えますか？第一志望を目指した結果、自分の新しい可能性を拡げていった結果です。
 そのためにも、自分の可能性を拡げるであろう大学の募集要項を取り寄せ、それを今の第一志望を叶えるための「御守」にしてください。だって、御守は中を開いてみるなんてことはないですよ。改めて、足元を大切に。